

漢方薬局一貫堂 解熱鎮痛剤 8号 A 添付文書

成分及び分量	日本薬局方 アセトアミノフェン 0.9g " カンゾウ末 0.5g " シャクヤク末 0.5g 賦形剤 " 乳 糖 適量 <hr/> 全 量 3.0g
用法及び用量	1回量を次のとおりとし、1日2回を限度とする。 なるべく空腹時をさけて服用する。服用間隔は6時間以上おくこと。 大人（15歳以上）1包 1.5g、11才以上15才未満大人の2/3
効能及び効果	◎頭痛・歯痛・抜歯後の疼痛・咽喉痛・耳痛・関節痛・神経痛・腰痛・筋肉痛・肩こり痛・打撲痛・骨折痛・ねんざ痛・月経痛・外傷痛の鎮痛 ◎悪寒・発熱時の解熱
作用	解熱鎮痛作用を有するアセトアミノフェンに、急性症状(筋肉の急激な筋縮による痛み)を解消するカンゾウ及び腹筋などの緊張を緩和するシャクヤクを配して、解熱鎮痛作用を期待したもの。芍薬甘草湯にアセトアミノフェンを加えた処方でもある。

【使用上の注意】

- 次の人は服用しないでください
 - 今までに薬による過敏症状(例えば発熱、発赤、かゆみ、浮腫(喉頭、まぶた、口唇など))を起こしたことがある人。
 - 今までに本剤又は他のかぜ薬、解熱鎮痛薬を使用してぜんそくを起こしたことがある人。
 - サリチル酸製剤(アスピリンなど)により過去にアレルギー症状を起こしたことがある人。
 - アスピリンなどにより、ぜんそくを起こしたことがある人。
 - 現在、胃・十二指腸潰瘍を起こしている人、又は今までに起こしたことがある人。
 - 出血性素因のある人。
 - 妊娠12週間以内及び妊娠末期の妊婦、授乳婦。
- 次の人は服用前に医師、歯科医師又は薬剤師にご相談ください。
 - 本人又は両親、兄弟などがじんましん、んぶれ、気管支ぜんそく、アレルギー性鼻炎、食物アレルギーなどを起こしやすい体質の人。
 - 今までに薬によるアレルギー症状(例えば発熱、発疹、関節痛、ぜんそく、かゆみなど)を起こしたことがある人。
 - 水痘(水ぼうそう)もしくはインフルエンザにかかっている又はその疑いのある小児(11才以上)
 - 妊婦又は妊娠していると思われる婦人。
 - 肝障害、腎障害のある人。
 - 消化性潰瘍のある人。
 - 出血しやすい人及び手術前1週間以内の人。
 - 高齢者又は虚弱者。
 - 医師又は歯科医師の治療を受けている人。
 - 15才未満の小児
- 服用の際には、次のことにご注意ください。
 - 定められた用法・用量を厳守してください。
 - 次の医薬品又はアルコール性飲料とは同時に服用しないでください。
他の解熱鎮静薬、かぜ薬、糖尿病薬、抗凝血薬など。
 - 小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させてください。
 - 本剤は、11才未満の小児に服用させないでください。
- 服用中又は服用後は、次のことにご注意ください。
 - 本剤の服用により、まれに次のような症状があらわれることが報告されています。このような症状があらわれた場合には直ちに服用を中止し、医師、歯科医師又は薬剤師にご相談ください。
 - 本剤の服用後すぐにじんましん、浮腫(喉頭、まぶた、口唇など)、胸苦しさなどとともに、顔色が青白くなり、手足が冷たくなり、冷や汗、息苦しさなどがあらわれた場合。
 - 高熱を伴って、発疹・発赤、火傷様の水ぶくれなどの激しい症状が、全身の皮膚、口や目の粘膜にあらわれた場合。
 - ぜんそくがあらわれた場合。
 - 本剤の服用により、発疹・発赤、悪心・嘔吐、食欲不振、めまい、耳なりなどの症状があらわれた場合には服用を中止し、医師、歯科医師又は薬剤師にご相談ください。
 - 数回服用しても症状の改善がみられない場合には、服用を中止し、医師、歯科医師又は薬剤師にご相談ください。
 - 長期連用しないでください。
- 保管及び取り扱い上の注意
 - 小児の手のとどかない所に保管してください。
 - 直射日光をさけ、なるべく湿気の少ない涼しい所に保管してください。
 - 誤用を避け、品質を保持するため、多の容器に入れ替えないでください。
 - 1包の分割した残りを服用する場合には、残量を記載して保管し、2日以内に服用してください。

【製造販売元】

漢方薬局一貫堂 〒824-0031 福岡県行橋市西宮市1-8-8 桃坂店舗1号室 Tel 0930-26-2620

直接の容器又は、直接の被包に記載すべき事項

【注意】

- 1). 服用後は自動車などの運転をしないでください。
- 2). 小児の手のとどかない所に保管してください。
- 3). 服用の際には、添付文書をよくお読みください。
- 4). 直射日光をさけ、なるべく湿気の少ない涼しい所に保管してください。

No.002